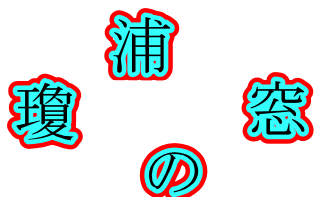




瓊浦高等学校
学校通信
第 59 号

平成29年7月31日発行
電話 095-826-1261
FAX 095-820-5245



「人生には一つの無駄もない」

教頭 小林 勝

3月31日の未明、胸を強く締め付けられるような激しい痛みで目が覚めました。その痛みには何とか耐えながら朝を迎え、妻の運転する車で心臓専門医院に駆けつけたのですが、何故すぐに救急車を呼ばなかったのかと担当してくれた医師に叱られました。到着後すぐに車椅子に乗せられ、絶対安静の状態検査、その後直ちにカテーテル手術となりました。ステントという管を血管の中に入れたのですが、3カ所のうち1カ所は99%詰まっていたそうです。そのダメージがどの程度残るか、一度壊死した部分は二度と回復しないと脅されたのですが、どうにか大丈夫でした。残り1%のおかげです。

退院から3ヶ月あまり、心筋梗塞の原因となった高血糖、高血圧を改善するために、食事、トレーニング、睡眠と真剣に取り組みました。その結果、6月末の検査ではほとんどの数値が劇的に改善されました。加えて昨年の12月から週2回トレーニングジムに通い、毎日ウォーキングを続けていたこともあり、半年余りで体重が5kg近く、BMIも22.1へと減少しました。

今の生活をもっと早くから始めていればとの思いもありますが、いくつになっても後悔は先には立たないものです。ただ最近よく耳にする「一病息災」と言う言葉は、まさに今の私のことでしょうか。今回病気になったおかげ?で、本気で生活改善に取り組み、血液検査のデータや体重はほぼベストの状態となることが出来ました。今の生活を続けていくことが出来れば、これから健康な人生を過ごしていけるような気がしています。

私の大好きな広島東洋カープが、GWのころ阪神タイガースに9点差を逆転されて負けた試合がありました。プロとしてあり得ないような負け方をしたのですが、「あの負けがあったからこそ優勝できた」と言えるよう、その日以来この屈辱を胸に、チーム一丸となって毎日の試合に臨んでいるそうです。

試合に負けたとき、その負けを次に活かそうとしているか。大切な試験に落ちたとき、仕事で大きな失敗をしたとき、「あの失敗があったからこそ」と将来言えるように頑張ろうとしているか。人生には失敗の中にこそ成長の糧が満載なのだと思います。失敗は成功の素です。失敗を他人や周囲のせいにしても、過ぎたことを後悔しても何の解決にもなりません。ただこれがなかなか難しく、つい他人のせいにしてしまいます。過ぎたことをい

つまでも引きずってしまいます。そして、諦めてしまいます。このように失敗を次に活かそうとしない姿勢が、貴重な成功の素を本物の失敗に変えてしまうのでしょうか。

実験の99%は失敗していたという発明王エジソンは、「私は実験で1回も失敗したことはない。この方法ではうまくいかないということがわかった」と、常々言っていたそうです。数々の大発明は、その積み重ねによって生み出された物なのですね。「人生には一つの無駄もない」のです。この言葉を肝に銘じ、まずこの暑い夏を元気に乗り切りたいものです。

《 高校野球 ベスト4進出 》

7月7日(金)から始まった夏の甲子園長崎県予選大会。本校野球部は、11日(火)佐世保工業に7対2で快勝し、幸先のいいスタートを切りました。2回戦は14日(金)長崎県営球場(ビックN)において西彼杵高校と対戦。この日は全校生徒が応援に駆け付け、夏の陽射しの下で戦う選手たちを後押ししました。攻撃のたびの立ち上がり声援を送り、満塁のピンチを乗り切ったときには大いに盛り上がるなど全校一丸となった応援のすえ、1対0で見事勝利。3回戦からは佐世保市総合グラウンド球場にておこなわれ、諫早高校を3対1、準々決勝は第3シード鹿町工業を激闘の末に4対3で破り、再びビックNに帰ってきました。準決勝は土曜日にもかかわらず大勢の生徒がスタンドに集まり、野球部や応援部を中心に熱い応援を繰り広げました。相手はシード校の波佐見高校で、粘り強く戦いましたが、2対9で惜しくも敗戦。仲間とともに甲子園を目指して戦ったことはかけがえのない経験となったことでしょう。彼らの懸命な姿は、応援する側にも爽やかな余韻を残してくれました。



《 主な行事 》

8月

- 2日(水) 第2回地域開放講座
- 8日(火) 第3回地域開放講座
- 9日(水) 平和教育(登校日)
- 18日(金) 第4回地域開放講座
- 20日(日) 夏季学習合宿(～23日)
- 22日(火) 第5回地域開放講座
- 25日(金) 第6回地域開放講座
- 28日(月) 始業式
- 29日(火) 第2回実力考査(1年・2年)
就職・進学面接講話(3年)
- 30日(水) 進学保護者説明会
(3年・推薦希望者のみ)
体育祭特別時間割
(～9月8日)



9月

- 1日(金) PTA委員会・懇親会
(セントヒル長崎)
- 7日(木) 体育祭予行
- 8日(金) 体育祭準備
- 9日(土) 体育祭
- 10日(日) 体育祭(予備)
- 11日(月) 振替休日(体育祭)
- 15日(金) 基礎製図検定
- 16日(土) 就職選考試験開始
- 23日(土) 県高校生ロボットコンクール
- 24日(日) 全商情報処理検定
- 26日(火) 中間考査時間割発表
- 30日(土) 第3回学校見学会



検定合格おめでとう！

情報ビジネス科

日商簿記2級

柿平亜美(情3A) 森菜緒(情3A)

福江美羽(情2B)

電卓検定

1級2名 2級32名 3級3名

簿記検定

1級4名 2級17名

ビジネス文書検定

1級3名 2級26名 3級2名

機械科

3級技能検定

3級機械加工技能士 山崎銀次郎(機3C)

小笠原一輝(機3D)

危険物取扱者試験

丙種3名 乙4種1名 乙5種1名

計算技術検定

2級:9名 3級:109名

英語科

実用英語技能検定

2級:1名 準2級:5名 3級:2名

野球・インハイ壮行会

平成29年度インターハイおよび第99回全国高等学校野球選手権長崎県予選大会の壮行会が、7月5日

(水)に開かれました。今年のインターハイには、バドミントン男子・ハンドボール男子・卓球・陸上・ボクシングの各部が出場します。選手宣誓は野球部主将の島谷景介君(龍機3A)とハンドボール部主将の尾崎聖君(龍普3B)がおこないました。続いて山口吉生君(機3C)が激励の言葉を述べ、応援団を中心として全校生徒がエールを送りました。最後に選手団を代表してバドミントン部の貞方佑介君(龍馬普3B)が謝辞を述べ、夏の戦いに向けて強い決意を表明しました。



海外研修壮行会

7月19日(水)、この夏に海外へ派遣される生徒の壮行会が行われました。28日(金)よりシンガポールに短期留学をする真辺麟太郎君(龍普2A)は、「将来は、海外で英語を使って働きたいと考えている。そのためには、国際感覚が必要だと思い、留学の道を選んだ。」と話していました。また、18日(火)よりすでにシンガポールに留学をしている中尾未来さん(龍普2A)は出国前に、「ホストファミリーに、日本で流行っていることやシンガポールと日本の違いを英語で説明してみたい。」と意欲を見せてくれました。

日々指導をしている担任は、「留学しなくても英語を話す機会や海外の情報を入手することはできる。ただ、情報は知識であって経験ではない。語学というのはあくまでツール(道具)。実際の能力や魅力というのは、その人の経験や、経験に基づく説得力であるということに気づいて帰ってきてほしい」とエールを送りました。

また、8月27日(日)より松岡賢次郎君(龍機2A)がドイツ・オランダに出発します。県の事業の一環で、「欧州の船舶建造の現場を知る」をテーマに企業訪問や視察をおこないます。

なお、成果については、11月の瓊浦祭で全校生徒に報告する予定です。

【部活動成績】

バドミントン部男子

平成29年度全九州高等学校体育大会

男子学校対抗

第2位

男子シングルス 村本 竜馬(普3D)

第2位

男子ダブルス 辻 凌也(龍普3B)・村本 竜馬

第3位

ハンドボール部男子

平成29年度全九州高等学校体育大会

第3位

陸上部

秩父宮杯第70回全国高等学校陸上競技対校選手権大会北九州地区予選大会

1500m 林田 洋翔(情1A)

第3位

5000m 林田 洋翔

第6位

柔道部

平成29年度九州ジュニア柔道体重別選手権長崎県大会

66kg級 丸尾 比優馬(普3D)

優勝

100kg級 管 健裕(機3D)

優勝

70kg級 平田 莞菜(情2A)

第3位

平田 純菜(情2A)

第3位

44kg級 金子 ななみ(普1C)

第2位

将棋同好会

平成29年度 長崎県高等学校将棋選手権大会

女子団体

優勝

2017年 全日本トライアル選手権シリーズ 国際B級クラス

濱邊 伶(機2C)

第3戦

優勝

坂井 柚稀(機3B)

第4戦

優勝

JAXA連携授業

7月11日(火)に、JAXAから竹前俊昭先生をお迎えして連携授業が行われました。各学年の龍馬コースの生徒が参加しました。初めは龍機3A組が課題研究で空き缶を用いた簡易人工衛星「缶サット」について研究しており、現在の進捗状況や今後の課題などを発表しました。竹前先生からはプログラミングやパラシュート、衝撃吸収など様々な課題を教えて頂きました。その後の講演では人工衛星のお話しなどをして頂き、初めて聞く1年生は新しい刺激になったようです。

